

# 女性に対する暴力をなくす。

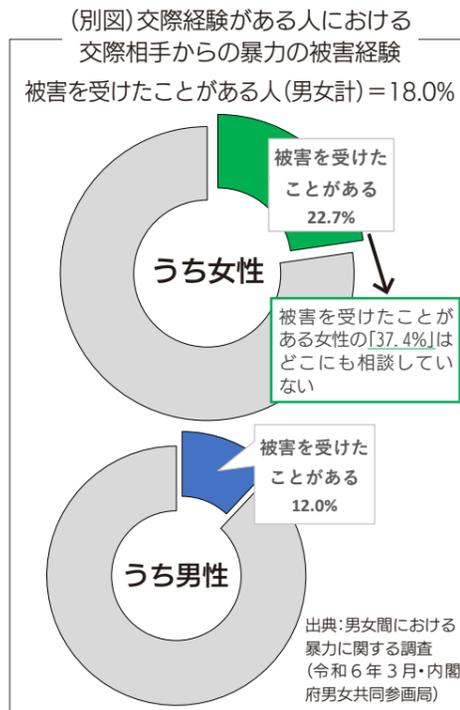
11月12日(水)～25日(火)は「女性に対する暴力をなくす運動」期間です。この機会に女性への暴力について考え、正しい知識を持ち、女性の人権を尊重するなど、私たちにできることを考えてみましょう。  
詳しくは、政策戦略課(☎28419)へ。

## ■多くの人が暴力被害を受けたことがあります

国の調査によると、交際経験がある人の18.0%は、交際相手から暴力被害の経験があると回答。これを男女別に見ると、女性は22.7%と多いですが、男性も12.0%と少なくありません(右図参照)。

## ■暴力は、人をたたく・なぐるだけではありません

- ▷大声で怒鳴る ▷目の前で物をたたく、投げる、壊す
  - ▷人付き合いや外出を制限する
  - ▷携帯電話、スマートフォンの通信履歴をチェックする
  - ▷長時間無視をする
- これらは全て、あなたを傷つける「暴力」です。



## ■暴力被害を相談していない人がたくさんいます

国の調査によると、交際相手から暴力被害の経験がある女性の37.4%は、どこにも相談していないと回答しています(上図参照)。主な理由は、「相談するほどのことではない」「自分にも悪いところがあると思った」「相談しても無駄だと思った」「自分さえ我慢すればこのままやっていけるといった」です。

## ■暴力に関する相談先があります 悩む人には声かけを

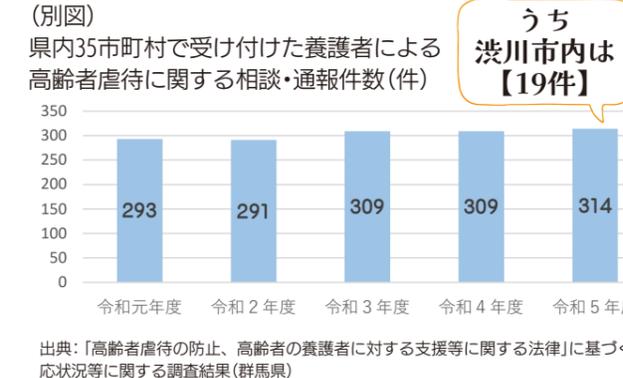
配偶者や恋人など、親しい関係にある、または親しい関係にあった人からの暴力で悩んでいる女性は、我慢せずに周囲や支援機関に相談しましょう。  
また、暴力などに悩んでいる女性が身近にいたら、「あなたは悪くない」と伝え、相談窓口(左表参照)を案内しましょう。

暴力に関する相談先			
相談内容	連絡先	電話番号	ホームページ
性犯罪・性暴力	性暴力に関するチャット相談 Cure time (キュアタイム)	-	
	性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センター	#8891 (はやくワンストップ)	
	性犯罪被害相談電話(警察)	#8103 (ハートさん)	
配偶者・交際相手からの暴力	DV相談プラス	0120-279-889 (つなぐはやく)	
	DV相談ナビ	#8008 (はれれば)	
人権に関する相談・悩みごと	みんなの人権110番(全国共通人権相談ダイヤル)	0570-003-110 (ゼロゼロ みんなのひやくとおぼん)	

決して「あなただけ」ではありません。  
まずは**相談**してください。

**高齢者虐待はなぜ起こる？**  
高齢者への虐待は、誰もが当事者になる可能性がある、身近な問題です。虐待は、早期に発見することで深刻な事態を防ぐことができます。あなたの気付きが高齢者を守り、本人を支える家族などの支援にもつながります。  
詳しくは、中央地域包括支援センター(高齢者安心課内)☎2179 または市ホームページ(ID112631)へ。

介護負担の増大、地域での孤立、経済的な問題、家族間の長年の折り合いの悪さなど、さまざまな要因が複雑に絡み合い、虐待の発生につながっています。  
また、本人のためを思っている行動だとしても、それが虐待に当たることがあり、意図せず、誰もが当事者になる可能性があります。虐待は、決して他人事ではなく、身近なところで発生してきます。  
要因の一つである介護負担の増大は、介護サービスなどの利用で軽減できます。心身に余裕を持つため、活用してください。



高齢者虐待を防ぐため 私たちにもできること。

- 高齢者虐待の種類**
- ▼身体的虐待 殴る、蹴る、体を縛り自分で動くことを制限するなどの身体への暴力
  - ▼心理的虐待 本人の精神的苦痛となる脅しや威圧的な態度、無視、嫌がらせなど
  - ▼経済的虐待 本人に無断での年金や預貯金の使用、財産の売却など
  - ▼性的虐待 本人が嫌がる性的行為やその強要など
  - ▼介護放棄 必要な介護や世話を怠り放置することなど
- こんな高齢者に気が付いたら 相談してください**
- ▼体や顔にあざがある
  - ▼衣服が乱れている。不衛生な状態である
  - ▼以前と比べ表情が乏しい。おびえている
  - ▼高齢者に対する怒鳴り声が聞こえる など
  - ▼気がかりな様子の子の高齢者がいた場合は、迷わず地域包括支援センター(下表のとおり)へ知らせてください。相談者の氏名などの個人情報を守りますので、安心して相談してください。

市地域包括支援センターの一覧	
センター名・電話番号	所在地
中央地域包括支援センター ☎2179	石原80 (市役所内)
西部地域包括支援センター ☎7567	渋川(藤ノ木)2659 (北毛介護支援センター内)
金島・伊香保地域包括支援センター ☎8366	金井2212-1 (特別養護老人ホームかない苑内)
古巻地域包括支援センター ☎1300	半田785-5 (特別養護老人ホーム永光荘内)
豊秋地域包括支援センター ☎2231	石原564-1 (介護老人保健施設銀玲内)
小野上・子持地域包括支援センター ☎8025	中郷2399-7 (特別養護老人ホーム春日園内)
赤城地域包括支援センター ☎2218	赤城町北赤城山1055-1 (介護老人保健施設赤城苑内)
北橋地域包括支援センター ☎7720	北橋町八崎2349-17 (第二デイサービス虹の家内)



# 世界パラ陸上 金メダル獲得 唐澤剣也選手 おめでとう！



本市出身のパラアスリート唐澤剣也選手が、ニューデリー2025世界パラ陸上競技選手権大会の男子5000メートル(視覚障害・T11クラス)において、15分23秒38の記録で2大会ぶりの金メダルを獲得しました。また、男子1500メートル(視覚障害・T11クラス)において、5位入賞を果たしました。

唐澤選手の今後ますますの活躍を期待しています。

問合せ先 広報室(TEL2182)

▲ガイドの堀越選手(左)と唐澤選手(右) [写真]株式会社SUBARU提供

## 〈連載・第2回〉

### しぶかわジェンダー平等推進表彰の受賞者紹介！

市は、誰もが自分らしく生き生きと活躍できる社会を目指し、ジェンダー平等を推進するため、先進的な取り組みを行う団体や個人、計4団体を表彰しました。詳しくは、政策戦略課(TEL28419)へ。

今回は、「ユースセンターよはくSRHR推進メンバー」の取り組みを紹介します。



#### ■団体プロフィール

**所在地** 渋川市渋川 **活動開始時期** 令和6年12月から  
**活動内容** SRHRの普及啓発、若者向け相談イベントの企画  
※「ユースセンターよはく」は、高校生や大学生等のユース世代が、放課後などに思い思いに好きなことをして過ごせる学校以外の居場所として、令和6年4月に開所されました

SRHR(セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツ)とは「性と生殖に関する健康と権利」と訳され、心と身体の健康、性や生殖の正しい情報を得られ、自ら選び、決定できるという基本的人権のこと。生理や更年期、避妊や妊娠、出産や育児支援など、男女双方に重要なテーマを扱い、国際的にはSDGsにも明記されています。

#### 団体の取り組み内容

「若者視点でSRHRやジェンダー平等の普及を」  
▷主体的に学習機会を設け、群馬大学教授から女性の健康づくりについての講義を受講  
▷高校生自身が企画・制作した啓発リーフレットを配布し、同世代に分かりやすく情報発信

#### 受賞における評価ポイント

若者自身が社会課題を認識し、自らの言葉と視点で情報発信を行うことで、次世代のジェンダー平等意識の醸成に貢献している点を非常に高く評価

#### 受賞者に聞きました！

**Q** ジェンダー平等の取り組みを始めたきっかけは？  
**A** SRHRについて全く知らないメンバーもいれば、探究心や将来の職業を見据えた興味から調べ始めたメンバーもいました。そんな中、「自分らしい未来を選ぶために必要な大切な知識や考え方だから、自分たちが理解しさらに広げていきたい」と共通の考えを持ったことがきっかけです。

**Q** これからの目標を教えてください  
**A** 啓発リーフレットを多くの人に見てもらって、性や健康について正しい知識を学び、それぞれの違いを理解し合って、SRHRを他人事じゃなく自分のこととして受け止めてほしいです。そして、性別に関係なく誰もがお互いを思いやれる未来に繋がったらうれしいです。




▲受賞者紹介の詳細はこちらへ

# 11月25日(火)～12月1日(月)は 「犯罪被害者週間」です。



犯罪被害者等支援シンボルマーク「ギュットちゃん」

犯罪被害に遭うと直接的な被害だけではなく、被害者本人やその家族も心身の不調、生活上の問題、周囲の人の言動による傷つきなどの多くの問題を抱えます。犯罪は、いつ、どこで起こるか誰にも分かりません。身近な人が犯罪に巻き込まれた場合、その人の置かれている状況と支援の必要性について考え、被害者をさらに傷つけるような言動に注意しましょう。  
詳しくは、危機管理室(TEL2130)へ。

#### 犯罪被害者週間とは

犯罪被害者等基本法の成立日である12月1日の前1週間は、「犯罪被害者週間」と定められています。期間中は、犯罪被害者等が置かれている状況や犯罪被害者等の名誉や生活の平穩への配慮の重要性などについて、国民の理解を深めることを目的に、全国各地でさまざまな啓発活動が行われています。

#### 市が行う支援

**■犯罪被害者等支援相談窓口**  
市の職員が相談を受け、支援・関係機関との連絡調整や各種相談窓口の紹介などを行います。  
**相談方法** ▼電話専用ダイヤルへ電話(TEL027-243-0110) 受付時間は月曜日～金曜日(閉庁日を除く)午前8時30分～午後5時15分  
▼メール専用ダイヤル(Shim-insupport@city.shibukawa.gun.na.jp)へ相談内容を送信(24時間受け付け)  
▼対面事前予約し危機管理室へ(予約は右記の専用ダイヤルへ)  
**■支援金の支給**  
犯罪被害者や遺族の経済的負担を軽減するため、支援金を支給し

ます。申請方法などの詳細は、危機管理室にお問い合わせください。  
**支給額** ▼遺族支援金11事件につき30万円 ▼重傷病支援金11事件につき10万円

#### ■補助金の交付

犯罪被害者や遺族の日常生活を支援し、居住の安定を図るため、補助金を交付します。申請方法や要件などの詳細は、危機管理室にお問い合わせください。  
**■補助対象経費** 弁護士費用、家事代行費用、託児施設利用料 など  
**その他** 補助金額や補助率などの詳細は、市ホームページを確認してください



▲市が行う各支援について

#### 警察が行う支援

警察は、犯罪被害者に対して、捜査状況等の情報提供、臨床心理士によるカウンセリング、経済的な支援、再被害防止のための安全の確保措置などを実施しています。  
**問合せ先** 県警察本部犯罪被害者支援室(TEL027-243-0110) または 渋川警察署警務課(TEL0110)

#### ホンデリングプロジェクト

この取り組みは、不要となった本やCD・DVD・ゲームソフトを市が回収し、(公社)全国被害者支援ネットワークに送付し、その売却代金をさまざまな犯罪被害者支援活動に役立てるものです。皆さんのご協力をお願いします。



**とき** 11月20日(木)～12月12日(金) (閉庁日を除く)午前8時30分～午後5時

**ところ** 市役所本庁舎市民ホール  
**回収対象外となる物** ▼10年以上前に入版された本、ISBNコードが入っていない本、雑誌など  
▼規格品番が確認できないCD・DVD・ゲームソフト  
▼シングルCD  
**その他** 詳しくは、市ホームページまたは全国被害者支援ネットワークのホームページへ



▲市ホームページ



▲全国被害者支援ネットワーク